

# 第四中学校・第八中学校 統合委員会ニュース

第4号



発行：第四中学校・第八中学校統合委員会

このニュースは、「第四中学校・第八中学校統合委員会」における協議の状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行しています。今号は、12月12日に開催された第4回統合委員会における協議の概要をお知らせします。

## 新校舎の整備について協議

※ イメージ案は中面

第4回統合委員会では、9月に生徒教員・保護者・地域住民に対して実施した学校整備に係るアンケートの報告を受けるとともに、第2・3回に引き続き、統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について協議しました。第3回までの統合委員会で出た意見を反映した案（新校舎の建物配置のイメージ2案）を基に協議し、教育委員会に提出する「統合新校新校舎の整備に関する意見について」としてまとめました。一足制の導入については、多くの質問が出たため、次回に改めて報告を求めることとなりました。

新校舎の建物配置のイメージ2案の内容は、要点記録の中に掲載する予定です（中野区教育委員会ホームページと学校・地域連携担当窓口で公開）。

### <第4回統合委員会で出された主な意見>

- できるだけ広い校庭と屋内運動場にしてほしい。
- テニスコートやクラブハウスのシャワールームの必要性については再検討してほしい。
- 一足制の導入にあたり、屋内運動場に十分な数の靴箱を設けてほしい。また、武道場と屋内運動場を一体的に整備してほしい。
- 災害時の門の管理が気になる。また、災害時に避難しやすいように、校舎の出入口を増やしてほしい。
- 教職員が教育活動しやすく、また、災害時に動きやすい施設環境を整えてほしい。
- 時代によって学校に求められるニーズは変わるので、汎用性の高い施設にしてほしい。
- 生徒が学校に来るのが楽しくなるような、統合して良かったと思える学校にしてほしい。



## アンケート結果について



新校舎の基本構想・基本計画の検討にあたり実施したアンケートについて、新校舎の整備計画を担当するパシフィックコンサルタンツ株式会社より、説明がありました。

### ○調査目的

「中野区立小中学校再編計画（第2次）」に基づき統合する第四中学校・第八中学校の生徒、教職員、保護者、地域住民に対して、現在の学校の良いところ、改善すべきところ、今後の学校に望むことなどについてアンケートを実施し、基本構想・基本計画策定に向けた基礎データとする。

## ○調査期間

平成 30 年9月3日～9月 21 日

## ○調査対象、回答数

調 査 対 象		回 答 数	
第四中学校 第八中学校	1～3 学年の生徒	第四中学校	250 人
		第八中学校	169 人
	教職員	第四中学校	21 人
		第八中学校	28 人
	保護者	第四中学校	85 人
		第八中学校	22 人
	地域住民（各学校統合委員会委員の推薦する地域住民）		166 人

## アンケート結果の概要（各項目上位3つまで）

## ○新しい学校にあったら特に良いと思うこと（3つ以内）

（両校生徒）1 位	広々とした運動場や体育館、プール	202 票
2 位	本やパソコンを利用して、静かに読書や調べ学習ができる場所	145 票
3 位	大きい窓や広い廊下など、開放的な区間	129 票

## ○校舎、校庭などについて、特に気に入っている場所（3つ以内）

（四中生徒）1 位	図書室	128 票	2 位	自分の教室	115 票	3 位	体育館	66 票
（八中生徒）1 位	図書室	97 票	2 位	小体育館	59 票	3 位	教室	53 票

## ○校舎、校庭などについて、特に気に入っていない場所（3つ以内）

（四中生徒）1 位	トイレ	103 票	2 位	更衣室	87 票	3 位	プール	68 票
（八中生徒）1 位	更衣室	76 票	2 位	トイレ	53 票	3 位	校庭	44 票

## ○新しく建築する学校において、特に大切であると思われる項目（5つ以内）

## （教職員）

1 位	きめ細やかな指導や多様な学習形態に対応できる柔軟性のある部屋やスペース	30 票
2 位	屋内運動場やプール、校庭など運動施設の充実	28 票
3 位	防災性・防犯性など、児童・生徒の安全面への配慮	27 票

## （保護者）

1 位	防災性・防犯性など、児童・生徒の安全面への配慮	74 票
2 位	屋内運動場やプール、校庭など運動施設の充実	73 票
3 位	地域の避難所としての機能（防災設備、備蓄倉庫など）	48 票

## （地域住民）

1 位	防災性・防犯性など、児童・生徒の安全面への配慮	32 票
2 位	屋内運動場やプール、校庭など運動施設の充実	31 票
3 位タイ	地域の避難所としての機能（防災設備、備蓄倉庫など）	29 票
	きめ細やかな指導や多様な学習形態に対応できる柔軟性のある部屋やスペース	29 票

施設配置イメージ

- ※ 2つの案のうち、今後の設計を進める土台とすべきとされた①案
- ※ 2, 3階のイメージは省略



■建物配置特徴

【校舎・校庭】

敷地北側東側にL字型に校舎を配置。(教室を1階～3階の南向きに配置)

敷地南側に整形な校庭を配置。

【地域開放施設(屋内運動場、クラブハウス)】

敷地南東側に屋内運動場、敷地東側にクラブハウスを配置。

【メリット】

全ての教室を南向きに配置出来ることから、採光を確保できる。

開放施設と東側道路が近接しているため、施設を利用し易い。

開放施設を東側南東側に集約して設けられるため、セキュリティーを確保し易い。

【デメリット】

職員室からテニスコートの視認性に懸念がある。

## 統合新校の整備に関する意見を報告しました

統合委員会におけるこれまでの協議を踏まえ、現在の美鳩小学校の位置に設置する統合新校の新校舎について、統合委員会の意見を取りまとめ、12月20日(木)に教育委員会に対して報告しました。取りまとめた意見は以下のとおりです。

教育委員会では、この意見を反映し、統合新校の新校舎の基本構想・基本計画の案を作成し、意見交換会を開催したうえで、3月末を目途に基本構想・基本計画を策定していくこととなります。

今後のスケジュール(予定)

- 1月頃：基本構想・基本計画(案)の取りまとめ
- 2月頃：区民との意見交換会を開催(区報等で周知)
- 3月末頃：基本構想・基本計画を策定



▲伊藤委員長(中)・中田副委員長(左)から入野教育長(右)へ報告しました

## 統合新校新校舎の整備に関する意見

- 統合新校舎が、周辺の住宅に及ぼす騒音、圧迫感及び日影等の影響を十分把握し、学校施設の配置の検討をしていただきたいと思います。
- また、周辺住宅等からの視線にも配慮した施設にいただきたいと思います。
- 職員室は、災害時には要となる部屋であることを考慮して、教室や校庭へのアクセスに適した位置に設置していただきたいと思います。
- あわせて、特別支援学級と通常の学級の生徒及びそれぞれを担当する教職員が一体的に利用できる施設にいただきたいと思います。
- 運動量の増える中学生が利用する施設となることを踏まえ、十分に活動できる校庭や屋内運動場、衛生面に配慮した施設設計にいただきたいと思います。
- 校庭については、中学生が活動することに支障のない設計、材質の選定をしていただきたいと思います。
- 学校を使用している生徒及び教職員の意見は、統合新校校舎改築の際にできるだけ反映していただきたいと思います。

第四中学校・第八中学校統合委員会ニュース  
 編集・発行：第四中学校・第八中学校統合委員会  
 事務局：中野区教育委員会事務局学校・地域連携担当  
 TEL：03-3228-5548 FAX：03-3228-5679

次回の統合委員会は  
**3月5日(火)**  
 に開催する予定です。



※ 統合委員会の会議要旨は、区役所5階教育委員会事務局学校・地域連携担当または教育委員会ホームページでご覧になれます。